

様式第2号（第5条関係）

令和5年3月31日

受 講 報 告 書

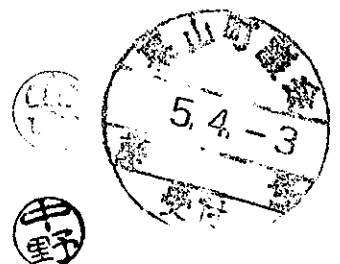
栗山町議会議長 鵜 川 和 彦 様

栗山町議会議員 鈴 木 千 逸 

このたび、下記のとおり受講いたしましたので報告します。

記

- 1 研 修 日 令和5年3月30日（木）・31日（金）
- 2 目 的 USB音声データによる研修受講
- 3 研 修 内 容 講師：森 裕之氏（立命館大学政策科学部教授）
財政基礎研修Level③ あなたのまちの財政比較分析編
「財政の基礎と資料の見方」～京都市の事例から学ぶ
「財政状況資料集Part 1」「財政状況資料集Part 2」
「財政状況資料集を使ってできる財政質疑のポイント」
- 4 関 係 書 類 別紙のとおり





ご希望の講座のチェックボックスへ ☒ チェックください。

講師 **森 裕之** 立命館大学 政策科学部教授、博士(政策科学)

1967年大阪府生まれ。大阪市立大学商学部、同大学経済学研究科後期博士課程中退後、高知大学助手。その後、高知大学専任講師、大阪教育大学専任講師・助教授を経て、2003年から立命館大学政策科学部助教授。2009年より同教授。財政学とくに地方財政と公共事業を専攻。また、社会的集害(アスベスト問題など)についても公共政策論としての立場から考察。

財政基礎研修Level①

世界一わかる 自治体財政編

☐ 自治体財政の 基礎的理解のために

- ・なぜ財政がわかりにくいのか?
- ・過去の参加者からのよくある質問から学ぶ
- ・家計に置き換えてイメージを掴むコツ
- ・全ての議員に知っておいてほしい財政の項目

☐ 財政基礎 **歳入編**

- ・地方税の区分をゆっくり解説
- ・地方交付税の簡単な理解の仕方
- ・補助金の仕組みと質疑のための課題
- ・地方債ってどんな役割か考え方を知ろう

☐ 財政基礎 **歳出編**

- ・税の使いみち目的別と性質別で押さえる
- ・住民1人あたりのコストを比較して見てみよう
- ・歳出のポイントの基礎的理解
- ・自治体財政の全体像から考える観点

☐ 財政健全化のための 基礎的課題

～財政破綻の足音を
察知するために見る視点～

- ・黒字と赤字を正確に把握しよう
- ・コロナによる基金の変化を知ろう
- ・京都市、新潟市などの事例から学ぼう
- ・財政の健全性を見るためのポイント

財政基礎研修Level②

決算カードでわかる 我が街の財政徹底解説編

☐ 決算カード1 「コロナと収入」

- ・決算カードとは何か?見方を学ぼう
- ・令和4年度予算のポイントを最新解説
- ・地方交付税と臨時財政対策債を
決算カードで見える
- ・債務負担行為と一時借入金について把握の仕方

☐ 決算カード2 「コロナと支出」

- ・支出の推移と構成比から未来を予測しよう
- ・各支出について自分の街の決算カードを見て確認
- ・見えにくい公営企業等の財政を見る
- ・積立金と借金はコロナでどんな影響があったか
～質疑例を踏まえて解説～

☐ 決算カード3 「財政収支の見方」

- ・自治体財政の赤字問題と直近の財政課題
- ・実は赤字?本当の収支を決算カードで確認
- ・各自治体の財政収支の事例から
財政危機の予兆を学ぶ
- ・コロナを踏まえた財政収支の考え方

☐ 決算カード4 「財政指標の見方」

- ・財政力指数とは何か、正確に理解していますか?
- ・経常収支比率の基礎的理解と議会での質疑例
- ・自分の街の施設などの資産の老朽化比率
- ・経営省のスタンスから考える今後の自治体財政

財政基礎研修Level③

あなたのまちの 財政比較分析編

☒ 財政の基礎と資料の見方 ～京都市の事例から学ぶ

- ・基礎(レベル1)と、決算カード(レベル2)の復習
- ・財政状況資料集の意義と見方のポイント
- ・類似団体の一覧と財政比較の基本
- ・京都市の事例から財政分析の必要性を再確認
～財政危機の足音はどの時点で把握できたか?

☒ 財政状況資料集Part1

- ・財政力指数、経常収支比率、
健全化判断比率を一目で比較
- ・健全化判断比率をクリアしているのは当たり前
- ・財政が悪いとは、どのような状態か
- ・人件費や職員数の比較分析を確認しよう

☒ 財政状況資料集Part2

- ・参加自治体の財政分析(先着申込10団体)
- ・財政比較分析表の活用方法をマスターしよう
- ・各指標の数値の内訳を分解してみよう
- ・財政調整基金残高はどれくらいあれば良いのか?

☒ 財政状況資料集を 使ってできる 財政質疑のポイント

- ・コロナ対策の現状と自治体財政
- ・自治体の税収減の課題と対策
- ・財政健全化に向けた国の動きと見える化
- ・持続可能な財政のために議会から指摘を!

お申込みは ☒ FAXまたは ☒ メールにて

メール申込み **mail@chihogiken.or.jp**

FAX申込み 下記申込書に明記の上 **050-6868-9679** にお送りください。

お名前	(フリガナ) スズギ チハヤ 鈴木 千逸	貴議会名	栗山町議会 (/ 期目)
電話番号	(0123) 73 - 7517	FAX番号	(0123) 72 - 1233
郵送先住所	〒()		
E-mail	@		
申込み合計	15,000円 × 講座 = 円		

※ご指定が無い場合は議会事務局様宛で郵送させていただきます。

令和4年(2022年)夏のセミナー最新版収録データ

人気セミナー 動画データと レジューメ販売 第12弾

- ☒ 交通費がもったいない ☒ あのセミナーを受けそびれてなくなってしまった
- ☒ 次の議会で質問したいのにタイミングが合わない

USBメモリにイれて
郵送いたします!

ご希望の講座のチェックボックスへ ☒ チェックください。

講師 **川本 達志**
元・廿日市市副市長

1956年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行政指導、契約法務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所上級コンサルタント、2014年4月に独立。著書に「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」(2017.7 学陽堂刊)

元副市長から学ぶ 決算審査直前研修

決算審議の実地研修 **基礎**

- ・決算質疑で外してはいけない勘所
- ・決算書を見ても解決しない謎
- ・そもそも自分の街の決算状況を理解できていますか?
- ・これで安心! 議員としてザックリ掴む

決算審議の実地研修 **応用**

- ・職員が聞かれたくないこと
- ・一目置かれる質疑に必要な準備
- ・決算での指摘を予算に生かす
- ・財政は比較して分析する

防災減災特別講座①

- ・自治体の防災に対する役割
- ・過去の災害から学ぶ
- ・法律や計画から学ぶ
- ・災害時に政治家かなすべきこと

防災減災特別講座②

- ・土砂災害に備えるために必要なこと
- ・大雨、地震、津波それぞれの防災減災の施策
- ・国からの財政措置についておさらいする
- ・防災、減災の質問のポイント
- ・効果的な質問質疑のために必要なこと

講師 **牧瀬 稔**
関東学院大学法学部地域創生学科准教授

法政大学大学院修了。民間シンクタンク・横須賀市政策研究所(横須賀市役所)・(公財)日本都市研究基金(総務省所管)・(一財)地域開発研究所(国土交通省所管)を経て、2017年4月より、関東学院大学法学部地域創生学科准教授、社会情報大学院大学特任教授、東京大学商学研究所客員研究員等を兼ねる。北上市、日南市、戸田市、春日部市、東大和市、新宿区、西条市などの政策アドバイザーとして関わっている。並行会理事。取手市自治会本部例規委員会委員(会長)。川口市緑区区民会議員(会派)。相模原市シビックプライドの推進に関する委員会委員(会長)等の要員に就いている。

人口減少対策・ 地方創生特別研修

「子ども」に関する 各種施策の現状と課題

- ・子どもを取り巻く多くの課題
- ・「子ども」に関する各種施策の紹介
(子ども権利、子どもの貧困、学力問題等)
- ・子ども施策の展望と課題

人口の維持・増加のための視点

- ・人口の維持・増加のための基本的視点
- ・自分の街の未来を見に行く視察先
- ・よくない議会質問例

人口減少対策と 地域活性化の取組み

- ・地域ブランドの創出と展開、地域差別化戦略
- ・地域活性化の事例
- ・人口減少対策を超えた新しい潮流

SDGsと地方創生の基本

- ・SDGsって何? 地方創生って何?
- ・成果のあがる地方創生、停滞する地方創生
- ・地方創生を推進する視点

料 金

1講座分 15,000円

お問い合わせ

地方議員研究会

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2
大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678

FAX 050-6868-9679

メール mail@chihogiken.or.jp

日 時	令和5年3月30日 10:00～17:00
視 察 先	自宅にてオンライン受講
調査事項	「財政基礎研修 あなたのまちの財政比較分析編」 「財政状況資料集」①
対 応 者	森裕之氏（立命館大学教授）
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 （感想、政策提 言、課題など）	財政についての理解を深める目的で受講した。 「財政基礎研修 あなたのまちの財政比較分析編」 財政の基礎の用語解説などを講義しながら関係諸表の見方の解説を受けた。 ●一般財源と特定財源の違い 一般財源は地方税、地方交付税 自治体が自由に用途を決められる 特定財源は国庫支出金、地方債 用途が限定されている。 ●一般財源が重要 自治体がやりたい施策を実行できる。 一般財源少なければ特定財源が入ってこない。 自治体の財政指標のすべてが一般財源との関係で判断される。 ●地方交付税は地方税とセット 標準的行政サービス実施のための財源が一般財源 一般財源は地方税＋地方交付税 基準財政需要額に不足する分を国が地方交付税として交付する。 ●臨時財政対策債 国が地方交付税だけでは措置できない財源部分を自治体が代わりに発行する地方債。国によって発行可能額が配分される。後年度にその元利償還分を地方交付税として交付する。 ●地方債と交付税措置の仕組み 地方債の70%は後年度充当され、実質的な負担は30%。

歳出は目的別歳出と性質別歳出

●目的別歳出

教育、福祉などの行政目的別 わかりやすい

●性質別歳出

給与、建設など経費の経済的性質ごとの分類

●補助費と繰出し金

一部事務組合や公営企業への支出が補助費

特別会計への支出が繰出し金

●決算カードの要点

「地方財政状況調査票」をもとにまとめたもの

「財政状況資料集」「類似団体比較カード」で比較など

「財政状況資料集」①

自治体の財政を学ぶ視点で財政状況資料の見方や用語の講義を受けた。

財政力指数の見方。財政健全化に関する法律。健全化判断比率等の対象についてなどを実際の自治体の数値をもとに学習した。

また、各自治体の財政比較分析表を解読しながら、類似団体との比較や財政的特徴のつかみ方などについて以下の点を中心に講義を受けた。

- 財政力
- 財政構造の弾力性
- 人件費・物件費等の状況
- 将来負担の状況
- 公債費負担の状況定員管理の状況
- 給与水準

講義内容をもとに栗山町を分析するとおおむねコントロールされている事が見て取れるが、公債費負担、将来負担に懸念材料があり、議会として注目していきたい。

日 時	令和5年3月31日 10:00～17:00
視 察 先	自宅にてオンライン受講
調査事項	「財政状況資料集」② 「財政状況資料集を使ってできる財政質疑のポイント」
対 応 者	森裕之氏（立命館大学教授）
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	財政についての理解を深める目的で受講した。 「財政状況資料集」② 自治体の財政の分析を学ぶ視点で財政状況資料の講義を受けた。 ● 財政力指標の類似団体順位、経年変化を見ていく。 ● 財政的特徴を把握する。 ● 分析欄の見方。 ● 分析欄に書かれている内容を理解し、そこで示されている課題が適切かどうかを判断する。 これらについて、自治体実例をもとに学習した。 「財政状況資料集を使ってできる財政質疑のポイント」 借金にかかわる財政指標と公共施設等の老朽化をサブテーマに講義を受けた。 健全な財政運営において、実質交際費率と将来負担比率を適切にコントロールしていくことは最重要課題である。 しかし、自治体の借金が少ない一方で、公共施設やインフラの老朽化が進んでいることは、本来的な財政運営の在り方ではない。実質交際費率や将来負担比率は、有形固定資産減価償却率と対比して考える必要がある。 この視点で、各自治体の実例を参考に学習した。 また、学習した内容から持続可能な財政のために議会での質疑例の講義を受けた。 本講義を繰り返し復習して健全な財政運営について理解を深めて議会活動に役立てたい。